立教 ホルトノキ

Als alle Knospen sprangen (H. ハイネ)―蕾、全て綻びて

中学校入学式式辞

校長　吉野　光

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、これから始まる学校生活に様々な期待をしていることと思います。ぜひ、学びや良き仲間づくりなど数多くの経験を重ねていってください。

さて、皆さんが学校生活を送るこの立教池袋中学校・高等学校は、今から一五〇年前に、立教学院の母体となるアメリカ聖公会から派遣されたチャニング＝ムーア＝ウィリアムズという宣教師によって開かれた立教学校が前身です。それ以来、立教池袋中学校・高等学校では、建学の精神である「キリスト教に基づく人間教育」が続けられています。

私は、毎日の生活でいつも神様に見守られていることを感じています。神様は普段、私を静かに見ていますが、時には元気づけたり背中を押してくださることもあります。そして私たちに「それは何のためにやっているのか」と問いかけ、考えるよう導いてくださいます。

この立教池袋中学校・高等学校で、皆さんも神様に見守られながら六年間の一貫連携教育で学びますが、本校のそれは単なる中学校から高校へ自動的に進学していくことではなく、それぞれの学校で、常に学ぶ目的を考えながら六年間じっくり時間をかけて経験を積み重ね、考えを深めていく力を身につけていくものです。

「テーマを持って真理を探究する力」を身につける。これは本校の大切な教育目標の一つです。毎日めまぐるしく変化する現代社会の中、雄大な自然現象や、世界の情勢、歴史や文化、芸術など皆さんがこれから探究するジャンルはたくさんあります。皆さんにはこれからの学校生活の中で、「それは何のために学ぶのか」を大切に、目で見て体で感じ、自分の考えをまとめてください。皆さんが取り組むそのテーマは無限です。

そのような大切な経験を重ねる時、皆さんにはどんな人とどんな出会いがあるでしょうか。

本校の教育目標のもう一つは、「共に生きる力」を身につけることです。

今、世界では豊かな社会の中においても、貧困や紛争、地球環境の急激な変化や大規模な自然災害の中を生きている人々が数多くいます。また、私たちの身の回りでも、病気や人間関係でつらい思いをしている人もいるかもしれません。

そのような人々と出会った時、私たちは神様から「自分はどこに立っているのか」「だれのために生きているのか」と問いかけられているような気がします。しかし同時に神様は、とても大切な出会いも与えてくださいます。

皆さんもこれからの日常生活において、時には、自分や仲間が艱難におちいることもあるかもしれません。その時は、その試練を乗り越える力を身につけてほしいことはもちろんですが、時には、自分だけの力で乗り越えるには大きい重荷もあるかもしれません。しかし、そんなつらい時こそ皆さんの隣には、あなたの身を案じて心配してくれる人、そしてあなたを信じて、力を差し出してくれる人が必ずいます。

そして、周囲の人に助けられて試練を乗り越えた時、次はあなたが困難を抱えた人を支え、お互いを信頼し希望を与え合う仲間を築いてください。

これから六年間の学校生活で、数多くの学びと経験を重ねることで、それぞれがお互いの良さを理解し、全体で力を合わせて課題解決に向かっていくリーダーシップを身につけていきましょう。

本校は、そんなお互いの存在を認め合い、広く深い視野を持って自分のあり方を考える、しなやかな人となるよう皆さんを応援いたします。

中一組主任より

未来は君たちの手に

立教池袋へようこそ。小学校の六年間で成し遂げたこと、やり残したことがそれぞれあると思いますが、もう変えることはできません。しかし、その経験を糧に、継続的に学び続けることで、君たちの未来はいくらでも変えることができるでしょう。

これからの中学三年間、立教で出会う仲間や先生と共に学び、生活していく中で、立派な大人に向けて成長していってくれることを願っています。一つ一つの学びや体験を大切に、自らのテーマを見つけ、一生懸命取り組んでみましょう。

さあ、今日から中学生！昨日までの自分より一歩成長した自分になろう。まずは身の回りのことを自分でこなすことから。自立したカッコイイ中学生を目指そう！

（一組　中川太郎）

希望

今日から中学生になった君たちに求めることを伝えます。

まずは、**自律してください**。自分自身で規範を打ち立て、自分のことは自分でやっていくのです。次に、**社会性を身につけてください**。実社会に通用する、社会集団の一員にふさわしい価値観と判断基準を意識してください。最後に、**好きなこと、没頭できることを見つけてください**。人が成長する原動力の全てです。自分の価値や生きる意味、将来のキャリアに繋がります。

この三つができたら、立教池袋の環境を自らで最大限に活かせる生活が送れます。

今日から君たちのサポートに全力を尽くします。

ご入学、おめでとうございます。

（二組　梅野伸也）

立教での学びの旅

入学おめでとうございます。立教で過ごす時間が、皆さんの将来の軸を発見するよい旅となることを願っています。「立教」には三つの良さがあると思います。

一つ目は、自律した自由な人間を育てようとしていることです（自由の学府）。人類の歴史は「自由」を求める格闘の歴史でもあり、それは自分本位という意味ではなく、批判的な理性をもつ自律的な個人の育成を意味しています。二つ目は、そのために教養の深まりを重視している点です（リベラル・アーツ）。三つ目は他者を思いやり感謝する「キリスト教」による人間教育を実践している点です。これら立教の学びの精神をもちながら、共に歩み出しましょう。かなり遠くまでいけるはずです。

（三組　綾部保志）

チャレンジ

中学入学おめでとうございます。新しい学校生活にあたり期待に胸をふくらませていることでしょう。

中学校に入ったら何ができるでしょうか。学校で部活をしたり個人で新たな活動をしたり、いろいろ考えているのではないでしょうか。

このタイミングにあたり、是非この三年間で何を成し遂げたいかという「目標」を設定してください。その目標を達成するために自分は何をするべきか考えてみましょう。

良い中学校生活が送れるよう応援しています。みなさんも色々なことにチャレンジしてください。

（四組　對馬　剛）

高一組主任より

聖書と学問

▼ある経済誌の記事。職業を四つに整理した。①店舗店員・運転手等高度な知識を要せず日本人である必要もない職業。②証券業者・会計士等高度な知識を要し世界を顧客・競争相手とする超成果主義の職業。③住宅・保険営業等日本文化への共通理解という信頼感を活用した対面販売職。④医師・弁護士等日本人の強みを生かした日本市場向けの高度専門職。▼世界の一体化・少子化・人口減少が進む日本。①分野の職業は今後益々低賃金で働く外国人またはＡＩに仕事が流れる。次第に①以外の知的職業すらＡＩに取って代わられるとも。今後社会で身を立てるには、時代を読み高度な教養・技術・コミュニケーションスキルを身につけなければならないという。▼学問で身を立てよ。しかしその目的は。聖書は隣人愛の実践を説く。クラスや部活を越えた地域社会・地球規模の問題への貢献を見据えて懸命に学び身を立てる。新入生諸君に心にとめて欲しいことである。

（一組　重原康秀）

デバイスを手に入れて

ある有名な俳優の名前を思い出せないとき、ＰＣを開き、周辺の情報を入れて検索して確かめ、安心したりします。そんな検索が当たり前の現代は、「過程」が失われている時代だと言われます。

人の名前を教えてもらうぐらいならただの「便利」で済むのかもしれませんが、高校三年間は結果を手に入れることだけでなく、あえて面倒な方を選び取ることが必要なこともあると思います。全角一四〇字でまとめられると困ってしまうことも多いし、言い方を変えれば、プロセス自体にこだわる場面が必ず出てきます。

君たちの三年間が実りあるものとなるよう祈っています。

（二組　高橋　整）

バックグランド

三歳になる我が子との生活は、教育の基本に立ち返らせてくれる。「ミッキーが見たいの！」（訳：サブスクリプションでミッキーの動画が観たい）と三十分間訴え続ける姿の背景として、親がかまってくれない、環境設定に不備がありおもちゃに手が伸びない、動画に慣れ親しんでいる……、「こちら側」の課題があるにもかかわらず、「みません！」と一蹴する自分の不甲斐なさ。

「見たかったんだね」と耳を傾ける、「時計の短いハリが6になるまでね」と時間を可視化する、選択肢を提示する…、背景を考慮すると手立てがいくつか浮かび上がる。

みんなにはどんな背景があるだろう。不安や葛藤のもやもやに正対するのは大人でも難しいが、背景を解きほぐしていくと「よりよく」過ごすためのヒントが見える。私も「こちら側」の課題から目を背けず、みんなとその背景をわかちあう一助になれますように。

（三組　正村多佳子）

熱誠

実るほど
頭を垂れる
稲穂かな

高校生になった今、体はもちろん、心も大きく成長し、様々なことが幅広い視野で見えてくる。それと同時に、日々の学校生活での自由度も増してくる。そこに驕りや慢心があってはならない。高校生だからこそ、常にまわりの人たちの力を借りて生きているという「謙虚さ」を持ってほしい。いつか大きな勝負事にぶつかったとき、最後に雌雄を決するのは人間性である。力、自信をつければつけるほど稲のように穂先を下げ、謙虚な姿勢で人と接することが大切である。

すべては将来、社会で通用する人間になるために。

タイトルの言葉、「熱誠」。熱く誠実に取り組む。とにかく何事にも一生懸命に。そうすればきっと応援される人になる。

始まると目まぐるしく過ぎていく高校三年間。その一秒一秒を大切に謙虚に共に歩んで行こう。

入学おめでとう。

（四組　田部達弥）

中学新入生のために
― 心がけて欲しいこと ―

小学校時代とちがって交友関係も広がります。放課後のクラブ活動、生徒会活動などで下校の時間帯も変わり、また、授業科目の増加で、家庭での予習、復習の量も増え、そのための時間も必要になってきます。これまでの生活のリズムを、早く中学校生活のリズムに切り替えなければなりません。この切り替えがスムーズにいかないとき、遅刻、忘れもの、授業態度、そして持ち物や服装に影響が現れてきます。

ご家庭におかれましても、ご子息のきちんとした生活習慣の確立にご配慮下さるようお願い致します。

しっかりした生活習慣の確立があって、はじめて真の心身の成長と学習の向上がのぞめるということです。これは本人の自覚がなければなりませんが、特に、次の点でご家庭でもご協力下さい。

①意欲的・積極的な生活

自分なりのしっかりした目標を持ち、毎日を生き生きと意欲を持って生活し、だらだらした無気力な生活におちいらないように!!

②規則正しい生活習慣

新しい中学校生活に慣れるまでは疲れやすいものです。早寝早起きを心掛け、健康管理に気をつけ、遅刻・欠席をなくしましょう。また、家庭学習の習慣も身につけるようにして下さい。何事もスタートが肝心です。

③何事にも集中力を

遊びと勉強の「けじめ」が大切です。貴重な時間を最大限有効に使う工夫をしましょう。特に授業に対する集中力を!!

④忘れ物防止のために

本校では、各種の提出物が多いので、教具教材はもちろんのこと、提出物等については期限をしっかり守って下さい。メモ帳を一冊用意して、整理のメモをとる習慣を身につけて下さい。約束を守ることは生活の基本です。

⑤友人を大切に

自分のわがままを抑え、困っている人や弱い立場にある人に優しい思いやりの気持ちを持つようにしましょう。お互い尊重し合い、友人を大切にすることは、自分の学校生活を楽しくする原動力になります。

⑥学校生活を積極的に

充実した学校生活は、学習活動、クラブ活動、生徒会活動のバランスによって成り立ちます。特性、適性を十分考え、自分の意志で決定し、積極的に参加したいものです。この項については他の場で詳しい説明がありますので、参考にして下さい。

⑦「朝の読書」の習慣を

〝読書は心の糧〟と昔から言われています。一年生では、朝の八時一〇分から二〇分まで、クラスにおいて「朝の読書」を実施しています。図書館や先生方から推薦されたよい本を自分からすすんで読んでいきましょう。忙しい朝の十分間をぜひ、「心の糧」の時間としてください。

⑧家庭での役割もしっかり

中学生になったのを機会に、今まで親に頼っていたことを自分の仕事に切り替え、家族の一員としての立場を自覚し、自らの責任において、その役割をしっかり果たして下さい。自分のことを自分で行う身辺的な自立のできないものは、人格的な自立もできないものです。

⑨学校生活の心得

学校の秩序を維持するためにいろいろな規則があります。新入生諸君はルールを守って、楽しい学校生活を送りたいものです。

（赤い冊子『スクールハンドブック』をよく読んで下さい。）

【学　校　時】

始業・終業などの、時間の区切りは次の通りです。

※水曜日は朝礼のため始業は八時です。

始業	8：20
学活	8：20～ 8：30
1	8：30～ 9：20
2	9：30～10：20
	（モーニングブレイク）
3	10：35～11：25
4	11：35～12：25
	（昼休み）
5	13：10～14：00
6	14：10～15：00

※土曜日は四時間目終了後、昼食・学活を行い、終業となります。

※下校時刻は、土曜日を含め、一七時五〇分です。

【教科担任制】

教科	時数	担当
国語	5	廣瀬・関・村野・岡谷
社会	3	市橋・佐藤
数学	4	橋本（博）
理科	3	對馬
音楽	1	西澤・村林
美術	1	中仙道
保体	3	梅野
技術	2	山口
英語	7	中川・綾部・菊池・ボジュロー
聖書	1	佐山
礼拝	1	李・佐山・組主任
学活	1	組主任

中学校では、教科によって先生が変わります。時間割はいずれ発表になりますが、上記が科目と担当の先生です。

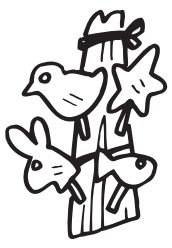
選修教科（二時間）については、後日プリントで詳しく説明します。

【弁　当】

中学校では給食がありませんので、必ずお弁当を持参して下さい。なおカフェテリアでは、パンや牛乳、おにぎりなどを販売していますが、これはあくまで、弁当を忘れたり、持参できなかったときの便宜的処置です。育ち盛りの中学生には、栄養の点から考えても、手作りのお弁当が必要だというのが、本校の方針です。もし忘れた場合には、午前中の休み時間のうちに、カフェテリアで代金を払って購入することになっています。

【欠席・遅刻・早退などの場合】

欠席・遅刻・早退などの場合は、スクールメールシステムを利用し、当日の朝八時までに連絡してください。緊急時には、以下の職員室直通の電話番号まで連絡願います。



職員室直通の電話番号

03-3985-2713（中1・中2）

03-3985-2714（中3・高1）

03-3985-2725（高2・高3）

保健室だより

▽開設時間――八時～一七時五〇分（土曜日は一三時二〇分）。ただし、一二時二五分～一二時四〇分は緊急の場合のみ。

▽利用方法――具合の悪いところをはっきり言って指示に従うこと。また、処置を受けた人は必ず名簿に記入すること。

▽体育見学届――具合が悪くて体育を見学する時は、届の用紙に記入し、保健体育担当の先生の許可を得ること。見学届の用紙は保健室にあります。

▽毎週月曜日の一二時～一三時三〇分は、校医が来校します。

オリエンテーション

中学新入生諸君は、八日（月）～一二日（金）までを、学校生活に慣れる期間として、授業を行わず、担任から学校生活の案内などを行います。詳細は別紙プリントを参照して下さい。

保護者会の御案内

前期の行事予定は、別紙プリントを参照して下さい。早速ですが、四月二〇日（土）午後二時三〇分より各組教室にて、第一回の組別保護者会を行います。ご出席下さい。

相談室から

ひとりで悩まず相談しよう

立教池袋中高には、皆さんの心の整理や問題解決の援助をするために相談室があります。学習や進路のこと、家族や友人などの人間関係のこと、自分の健康や性格のことなど、どんなことでも相談に来てみて下さい。内容についての秘密は守られます。

相談申し込みは保健室で受け付けます。

今月の聖句

わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

―ローマの信徒への手紙5章3－4節

新年度、新学期に新しい目標をすでに立てている、あるいは、これから立てる生徒諸君へ。目標や理想に向けて日々歩んでゆくうえで、困難にぶつかることも少なくないと思います。そのときに、聖書の言葉を思い出せればと思います。